

幹事会報告 7月16日(水) Zoom会議

出席：大橋、菊地、平子、高田、中島、安高

- 道スキー協第24回総会：7月6日(日)、高教組センター、代議員として安高が出席
- 夏の行事(登山)：7月27日(日)、三角山～赤坂山、4名+2名(他クラブから)参加予定
- 夏の交流会 in ぴっぷ：9月6日(土)、7日(日)、参加費16,000円

参加希望者は参加費を添えて7月31日までに大橋へ申し込むこと

次回幹事会：9月10日(水) 18:00より Zoom会議

道スキー協第24回総会報告

安高誠吾



7月6日(日)道スキー協の総会が開催され、私は代議員として会場の高教組センターに参りました。会場には代議員と役員合わせて43名が、その他に ZOOM でのオンラインで参加された方がおりました。議長選出に続いて島崎会長のあいさつ。会議が始まり三浦理事長から2025年度活動報告と2026年度活動方針の提案があり、収支決算報告・収支予算案ともに総会議案は満場一致で可決されました。

昼食休憩の後の午後の質疑・討議ではいくつかのクラブからの発言がありましたが、近年のリフト代の高騰に対して、運賃が安いあるいは無料のスキー場バスの利用、リフト代が安くなる時間帯の利用、リフト代がリーズナブルな小規模のスキー場の開発などの対策や工夫が紹介されました。このような情報を交換し合っ

て、知恵を絞ってスキー場の「ニセコ化」に対抗しなければなりません。

各クラブに対して、道スキー協のホームページのスケジュール欄にクラブ行事の書き込むこととクラブの役員はメーリングリストへ登録して欲しいとの要請がありました。

道スキー協の次期役員選挙が行われ何名かの役員の入れ替わりがありましたが、新しい役員体制は「北のシュプール」第505号をご覧ください。なお、道スキー協の会長の島崎さん(江別フリーダム)が今回で退任され、武田さん(ナイスミドル)が新たに会長に就任いたしました。

伊藤健さんの送別会のご案内

急なお知らせで、クラブとしては大変残念なことですが、伊藤さんが本州へ異動になり8月末に札幌を離れることになりました。つきましては下記の通り伊藤さんの送別会を開きますのでぜひご参加下さい。

日時：8月23日(土)午後6時から8時 会場：イタリアレストラン「ミアボッカ」琴似駅前店

会費：4,500円(飲み放題)

琴似1条1-1-29 (JR高架下) Tel 050-5489-2058

◎ 出欠を8月18日までにクラブ活動.comでお知らせ下さい。



私が16才の時に旅立った父は、10年間にわたる徴兵を経験しました。幼い私は父の布団の中で、従軍の思い出と利尻の話を良く聞かされました。衛生兵の父が盲腸の手術を施し、九死に一生を得たという戦友が、後年訪ねてきた事がありました。悲惨な状況下でも、戦友との友情を青春時代の1ページとして懐かしんでいたのですね。そんな事を思い出しながら、今放送中の「あんぱん」、柳井嵩の戦争編を見ていました。

父は札幌市役所に勤務し、嘘？か本当か？定年退職後利尻に戻って村長さんになる...という夢物語を楽しそうに話していました。(残念ながら定年前に旅立ちましたが)亡くなった後ひと月くらい、毎日のように夢に現れて、「これから利尻に行こうと思う」とか、受験を控えている娘に、親としての希望や励ましを話してくれたものです。そういう事もあって、私の中に

利尻への強い想いが芽生えたにも拘らず、還暦頃まで訪れる機会がなかったのです。

ところが、ここ10年間で利尻岳登山や利尻岳バックカントリー、そして利尻出身の義母のお供で訪れたり、利尻は既に私の心の故郷になっています。その証拠に！？今回の礼文利尻花ツアーでも、利尻島に一步踏み入れたら、「ただいま！」の気分で、「おかえりなさい！」と父と義母が迎えてくれているようでした。フェリーから、礼文から、機内から、利尻岳は美しく孤高の姿を見せてくれました。

## インカ道～太陽の門～マチュピチュ遺跡へ

平子 玲子

インカ道とはインカ帝国が整備した広大な道路網のことで、総延長は4万kmにも及ぶ。

今回はそのほんの一部を歩いた。オリヤンタイタンボ駅からマチュピチュ行の列車に乗る。発車前にはホームや列車内でアンデスの音楽が演奏された。1時間15分ほどで104km駅＝チャチャバンバで下車し、9:30 ハイキング開始。現地ガイドのロナルドさんが先導する。歩き始めてすぐインカ時代より古い段々畑の遺跡が現れた。その説明を受けて本格的な山道に入る。傾斜がきつくなかなかの難所が続いた。道中には綺麗な花がさいている。休憩を取りつつロナルドさんの「バーモス！」という掛け声に励まされる。これはスペイン語で「ファイト！」というニュアンス。みんなで繰り返す。12:30 頃昼食休憩。ウイニャイワイナという遺跡(写真1)のところだった。遺跡は見事なものでこうしたものが至るところにあるとのこと。

さていよいよ太陽の門(インティ Punk 2720m)を目指して歩きだしたのが13:30。登りが延々と続く「バーモス！」。雨が降り出した。最後の急階段を四つん這いになって登ると目の前に太陽の門が開けた。15:26 ついに到達「バーモス！」。門をくぐると眼下にマチュピチュ遺跡が見えた(写真2)。参加者一同感

激して写真を撮りまくった。しかしここで終わりではない。マチュピチュ遺跡を目指して今度は長い下り道が待っていた。16:28 遺跡に到達。baby リヤマが草を食んでいる。可愛い！遺跡の一部を見て感激を新たにし、バスに乗ったのは17:15 分だった。疲労と感激の一日だった。



1



2